

江都客裡雜誌（頼杏平）

八百八街宵月 明らかなり

秋風 処処に 虫声を 売る

貴人は 解せず 籠間の 語

総べて 是れ 西郊 風露の 情

八百八街宵月明 秋風處處賣蟲聲
貴人不解籠間語 總是西郊風露情

解説 江戸の街を詠った詩。

語釈 ※江都＝江戸の事。※八百八街＝昔から江戸八百八町という。
※籠間＝籠の中。※西郊＝西方の郊外。※風露＝風や露で、民間の事。

通釈 江戸の町に夕月が出て明るくさえている。秋風の中、とぎれとぎれに虫売りの声がする。位の高い人に、籠の中の虫の声を理解できるであろうか。総て秋の郊外の草木の風露の哀切の情を語っているのであることを。虫声を借りて下情に暗い貴人を調刺したものである。